

殺虫剤

ショットガン®

第 20091 号

種類名：ダイアジノン®乳剤

特長

- 有効成分のダイアジノン®が優れた効果を発揮します。
- 水ベースの製剤のため消防法上の危険物ではありません。
- 乳剤臭がきわめて少ない使いやすい製剤です。

【有効成分】 ダイアジノン (PRTR法第1種)40.0%

【性状】 類白色乳濁液体 【毒性】 劇物 【危険物】 -

【有効年限・包装】 3年・1L×15

ショットガンとダイアジノンは日本化薬(株)の登録商標です。

適用病害虫・使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノン
ねぎ わけぎ	ネギアザミウマ	1000倍	200L/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内
あさつき				収穫30日前まで			
たまねぎ			200~300L/10a	収穫21日前まで			
茶	クワシロカイガラムシ	1000倍	1000L/10a	最終摘採後~ 12月まで	1回	1回	
芝	シバツトガ スジキリヨトウ シバオサゾウムシ成虫	0.3L/m ²	3L/m ²	発生初期	4回以内	4回以内	
	コガネムシ類幼虫						
さくら	アメリカシロヒトリ	-	-	-	-	-	
つつじ類	ツツジゲンバイ	-	0.15~0.3L/m ²	-	2回以内	2回以内	

■については有効成分を含む農薬の総使用回数を示すものです。

使用上の注意

- (1)使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ること。
- (2)貯蔵中に分離することがあるので、使用直前に容器をよく振って使用すること。
- (3)本剤の散布薬液は希釈調製後できるだけ速やかに使用すること。
- (4)コガネムシ類幼虫防除には散布液が土壌中に十分しみこむように散布し、シバツトガ、スジキリヨトウ、シバオサゾウムシの防除には芝表面、地際にまきむらのないよう散布すること。
- (5)ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ②養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めること。
- (6)蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (7)本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1)医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2)本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤およびPAM製剤がある。
- (3)本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合は直ちに水洗いすること。
- (4)散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣等を着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (5)作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (6)かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (7)街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1)水産動植物(甲殻類、ドジョウ、ボラ)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。比較的低濃度でも魚が平行失調等を起こすので、養殖池等周辺での使用は避けること。
- (2)散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常の使用法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、食品と区別し、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。盗難、紛失の際は、警察に届け出ること。